Olympus Sonority

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管してください。

JP

はじめに

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 付属の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーで再生しないでください。スピーカやヘッドホンを破損したり、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

ソフトウェアの機能説明についての注意事項

機能の項目で Windows で使用できる場合は Windows 、Macintosh で使用できる場合は Macintosh と表記しています。Windows または Macintosh のいずれか一方のみが記載されている項目は、対象のシステムでのみのサポートとなります。

商標について

Windows

Microsoft、Windows、Windows Media、DirectX、および DirectShow は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

DigiOnSound は、株式会社デジオンの登録商標です。

日本電気株式会社からのライセンスに基づくノイズキャンセル技術を利用し製品化されています。

MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。

Macintosh

QuickTime および QuickTime ロゴは Apple Computer, Inc. の商標であり、Macintosh は同社の米国およびその他の国における登録商標です。

DigiOnSound は、株式会社デジオンの登録商標です。

日本電気株式会社からのライセンスに基づくノイズキャンセル技術を利用し製品化されています。

MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。

Flip4Mac は、Telestream Inc. 社の登録商標です。

その他本書に記載されている会社名および製品名はその会社の商標または登録商標です。

目次

Olympus Sonority の特長

Olympus Sonority は、OLYMPUS 製 IC レコーダーを接続して、音声ファイルの一括管理および編集ができるソフトウェアです。Olympus Sonorityはファイルの管理をするブラウズ画面とファイルの編集をする波形編集画面から構成されています。
ブラウズ画面では、レコーダー内の音声ファイルと PC 内の音声ファイルの転送機能による、音声ファイルの管理をサポートします。また、音声ファイルを再生する際に、スピードコントロール、ノイズリダクション、トーンコントロール効果を与える機能や、音声ファイルのコンバート、分割、結合機能も備えています。
波形編集画面では、音声のカット編集、追加録音や多数のエフェクトを施すための視覚的な編集環境を提供しています。 これらブラウズ画面と波形編集画面はタブで切り替えることができ、音声の管理・編集の効率化を実現しています。
Olympus Sonorityには、以下の特長があります。

ブラウズ画面

- WMA、MP3、WAV、AIFF※1、DSS、DSS Pro形式ファイルの再生機能。
- 音声再生時の、スピード変更機能、ノイズキャンセル機能、トーンコントロール機能。
- インデックスマークの追加、編集、およびインデックスマーク間のスキップ機能。
- 音声ファイルの分割、結合、ファイルコンバートなどの編集機能。
- 音声ファイルのレコーダーからのダウンロード、およびレコーダーへのアップロード機能。
- レコーダーへの音声ガイダンス転送機能。※2
- ソフトウェアおよびレコーダーのファームウェアの状態を最新に保つアップデータ通知機能。
- ポッドキャストコンテンツのダウンロード、管理、およびレコーダーへの転送機能。※3

波形編集画面

- カット、コピー、およびペーストなどの基本編集機能。
- インデックスマークの追加、編集、およびインデックスマーク間のスキップ機能。
- レコーダーを使用したダイレクト録音機能。※2
- 音量を均一にする AGC(Automatic Gain Control) と使用頻度の高いエフェクトを組み合わせ、ワンクリックで音声ファイルにエフェクトを与える 7 種類のワンタッチ補正機能。
- 音声ファイルのモノラル、ステレオ変換機能。
- 複数の音声ファイルを複数のトラックで編集し、合成できるミックスダウン機能。

さらに、Plus版や音楽編集Plug-inを追加することで、より高度な機能に拡張ができます。

- CD 書き込みフォルダに登録した音声ファイルによる音楽CD作成機能。
- MP3 ファイル、ID3タグの編集および書き出し機能。
- レコーダーメニューの設定機能。※2
- 20 種類以上の高度なエフェクト機能。
- スペクトラムアナライザー : 波形編集画面で再生中の音声の周波数分布をリアルタイムに表示します。
- 無制限のトラック編集 : 同時に編集可能なトラック数の制限がなくなります。

※1 : Macintosh版のみサポートしています。

※2 : レコーダーによっては、サポートしていない場合があります。ボイストレック V-22、V-62、V-72、V-82では、一部対応していない機能があります。

※3 : Macintosh版は、レコーダーへの転送のみ可能です。

Olympus Sonority の動作環境

Olympus Sonority の基本動作環境

Windows

OS（オペレーティングシステム）	Microsoft ® Windows® XP Service Pack 2 3 Microsoft ® Windows® XP Professional x64 Edition Service Pack 2 Microsoft ® Windows Vista®, Service Pack 1, 2(32bit/64bit) Micorosft ® Windows® 7 (32bit/64bit)
CPU	1 GHz 以上の 32 ビット（x86）または 64 ビット（x64）プロセッサ
RAM 容量	512MB 以上
ハードディスク空き容量	Olympus Sonority のインストール：300MB 以上
ドライブ	CD-ROM または CD-R、CD-RW、DVD-ROM ドライブ
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 6.0 以上
ディスプレイ	1024 x 768 ドット、 65,536 色以上（1,677 万色以上を推奨）
USB ポート	1つ以上の空き
その他	・オーディオデバイス ・インターネットが利用できる環境

ご注意

- パソコンが USB ポートを備えていても、Windows 95/98/Me/2000 から XP/Vista/7 にアップデートした場合はサポート対象外となります。
- 動作環境を満たしていても、自作パソコンでの不具合は動作保証外とさせて頂いております。

Macintosh

OS (オペレーティングシステム)	MacOS-X 10.4.11 -10.6
CPU	PowerPC® G5 またはインテル・マルチコアプロセッサ 1.5GHz 以上
RAM 容量	512MB 以上
ハードディスク空き容量	Olympus Sonority のインストール：300MB 以上
ドライブ	CD-ROM または CD-R、CD-RW、DVD-ROM ドライブ
ブラウザ	Safari 2.0 以上
ディスプレイ	1024 × 768 ドット、32,000 色以上（1,677 万色以上を推奨）
USB ポート	1つ以上の空き
その他	・オーディオデバイス ・インターネットが利用できる環境 Quick Time version7.2 以上を推奨

ご注意

• Olympus Sonority の一部の機能については、QuickTime 7.2 以上が必要となります。QuickTime の最新版は、MacOS のソフトウェアアップデートで入手することができます。

表記について

本書では次のコンピュータを想定して説明しています。
お客様の環境と異なる場合は、説明内容にしたがいそれぞれお客様の環境に適するように置き替えて解釈してください。
• 1 台目のハードディスクを C ドライブとして解説します。
• 1 台目のフロッピーディスクを A ドライブとして解説します。
• 1 台目の CD-ROM ドライブを D ドライブとして解説します。
• Windows XP を使用しているものとし、Windows のインストール先のパスを C:¥Windows として解説します。
また、お客様が パソコンの基本操作に慣れていることを前提にしています。
パソコンの操作については、ご使用のパソコン取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェアのインストール

レコーダーをパソコンにつないでご使用になるには、同梱の CD-ROM「**Olympus Sonority**」に含まれるソフトウェアをインストールしてください。

インストールの前に次のことをご確認ください

- 起動しているアプリケーションは、すべて終了してください。
- Administrator（管理者）に所属しているユーザー名でログインしてください。

Windows

1 付属の［**Olympus Sonority**］を CD-ROM ドライブに挿入する

- 自動的にインストールプログラムが起動します。起動した場合は手順 4 に進み、起動しない場合は次の手順 2、3 にしたがって進んでください。

2 CD-ROM の中身を［**エクスプローラ**］で開く

3 CD-ROM 内にある、［**Setup**］をダブルクリックする

4 Olympus Sonority のランチャ画面が表示されたら、［**オンラインユーザー登録**］をクリックし、ユーザー登録を行う

5 ［**Olympus Sonority インストール**］をクリックすると、インストーラのオープニング画面が起動します。以下インストーラのウィザードに従って進める

6 ［**使用許諾契約**］

- Olympus Sonority をインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。［**同意します**］のチェックボックスをクリックした後、［**次へ**］をクリックしてください。

7 ［**ユーザー登録情報の登録**］

- あなたのお名前、会社名および別紙に記載されているシリアル番号を入力してください。入力が終りましたら［**次へ**］をクリックします。

8 ［**セットアップタイプの選択**］

- インストール先を変更することができます。変更しない場合は［**次へ**］をクリックします。（変更する場合は［**カスタム**］を選択します。）

9 **[インストールの開始]**
- インストールを開始するには、[**インストール**]をクリックします。インストール作業が終了し、完了画面が表示されるまでは、他の作業を行なわないでください。

10 **[インストールの完了]**
- インストールが終了すると、[**Install Shield**]の完了画面が表示されます。
- Olympus Sonority を起動する場合は[**Olympus Sonority を起動する**](P.14)をご覧ください。

Macintosh

1 **付属の[Olympus Sonority]を CD-ROM ドライブに挿入する**
- CD-ROM の内容が表示された場合は手順 3 に進み、表示されない場合は手順 2, 3 にしたがって進んでください。

2 **CD-ROM の中身を、[Finder]で開く**

3 **CD-ROM 内にある、[Setup]をダブルクリックする**

4 **Olympus Sonority のランチャ画面が表示されたら、[オンラインユーザー登録]をクリックし、ユーザー登録を行う**

5 **[Olympus Sonority のインストール]をクリックすると、インストーラのオープニング画面が起動します。以下インストーラのウィザードに従って進める**

6 **[使用許諾契約]**
- Olympus Sonority をインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。[**同意します**]のチェックボックスをクリックした後、[**続ける**]をクリックしてください。

7 **[インストール先の変更]**
- インストール先を変更することができます。変更しない場合は[**次へ**]をクリックします。(変更する場合は、[**インストール先を変更**]を選びます。)

8 **[インストールの開始]**
- インストールが終了すると、[**インストーラ**]の完了画面が表示されます。
- Olympus Sonority を起動する場合は[**Olympus Sonority を起動する**](P.14)をご覧ください。
- Olympus Sonority 起動後、シリアル番号の入力ダイアログが表示されます。別紙に記載されているシリアル番号を入力してください。入力後、[**OK**]をクリックすると、Olympus Sonority が起動します。

ソフトウェアのアンインストール

パソコンからソフトウェアを削除することをアンインストールと呼びます。アンインストールは、各ソフトウェアが必要なくなった場合に行ってください。

Windows

1 Olympus Sonority を終了する

2 [**スタート**] メニューより [**コントロールパネル**] を選ぶ

3 コントロールパネルウィンドウ内にある [**プログラムの追加と削除**] をクリックする

4 インストールされているアプリケーションの一覧が表示されたら、[**Olympus Sonority**] を選ぶ

5 [**変更と削除**] をクリックする

6 [**ファイル削除の確認**]

- [**OK**] をクリックするとアンインストールを開始します。
  途中でメッセージが表示されることがあります。その際はメッセージをよく読み、指示にしたがって操作してください。

7 [**メンテナンスの完了**] の画面が表示されたら [**完了**] をクリックし、アンインストールを終了する

Macintosh

1 Olympus Sonority を終了する

2 [**Finder**] を開き、アプリケーションフォルダ内の [**SonorityUninstaller.pkg**] をダブルクリックする

3 アンインストーラが起動しますので、ウィザードに従って手順を進める

4 途中、管理者のパスワードを要求されますので、パスワードを入力して、[**OK**] をクリックする

5 アンインストールが開始され、成功のメッセージが表示されたら、[**閉じる**] をクリックする

アンインストール後に残されるファイルについて

作成した音声ファイルは [**Message**] フォルダに保存されています。
不要な場合は削除してください。
[**Message**] フォルダの場所は、アンインストールする前に [**ツール**] メニューの [**オプション**] をクリックし [**管理フォルダの設定**] の項目で確認できます。

オンラインヘルプの使いかた

Windows **Macintosh**

オンラインヘルプを表示するには、次のいずれかを行ってください。
• Olympus Sonority を起動した状態で、[**ヘルプ**] メニューから [**Olympus Sonority のヘルプ**] を選ぶ。

目次で検索する

1 **オンラインヘルプを表示させてから、目次のタブをクリックする**

2 **検索したい項目の [📕] をダブルクリックする**

• 選んだ項目のタイトルが表示されます。

3 **検索したい項目の [📄] をダブルクリックする**

• 選んだ項目の説明が表示されます。

キーワードで検索する

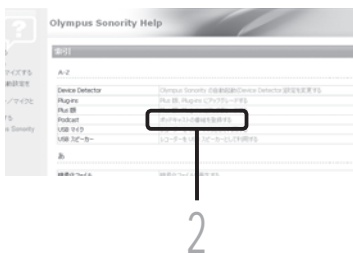
1 **オンラインヘルプを表示させてから、[索引] の項目をクリックする**

• 検索可能なキーワードの一覧が表示されます。

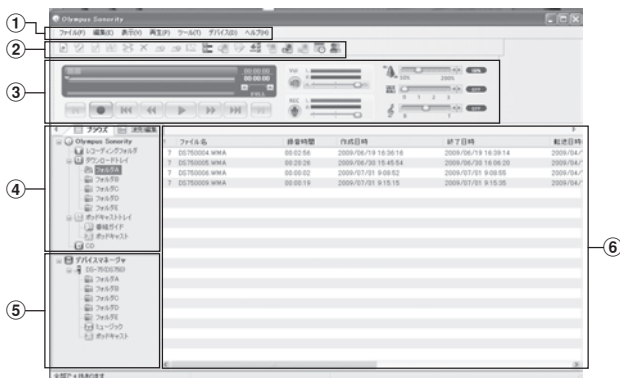
2 **キーワードをクリックする**

• 選んだ項目の説明が表示されます。

ご注意

• 本書は Olympus Sonority の基本的な操作を説明しています。メニューや詳細についてはオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプは Olympus Sonority のインストール後からご使用できます。

ウィンドウのなまえ（Olympus Sonority）

Olympus Sonority ブラウズ画面

Olympus Sonority のメイン画面です。
（表示画面は Windows での表示画面です。）

① **メニューバー**
OS 標準のメニューバーです。

② **ツールバー**
ブラウズ画面で使用するツールバーボタンが表示されます。

③ **再生コントロールバー**
ファイル表示エリアで選んだファイルを再生するときに使用します。

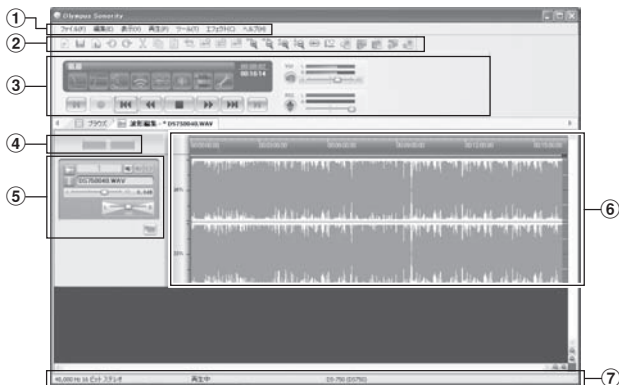
④ **メインツリービュー**
レコーダーからダウンロードしたファイル、Olympus Sonority で録音したファイルなど、PC 内で Olympus Sonority が管理している音声／音楽ファイルを保存しているフォルダが表示されます。

⑤ **デバイスツリービュー**
接続したデバイス内のフォルダが表示されます。

⑥ **ファイルリスト表示エリア**
メインツリービューまたはデバイスツリービューで選んでいるフォルダやレコーダー内にある全ての音声ファイルの詳細情報が表示されます。

Olympus Sonority 起動時には、情報表示エリア（初期設定）が表示され、Olympus Sonority の基本情報の表示やアップデート、アップグレードができます（☞ P.23）。

波形表示エリア画面

Olympus Sonority の波形編集のメイン画面です。
（表示画面は Windows での表示画面です。）

① **メニューバー**
OS 標準のメニューバーです。

② **ツールバー**
波形編集画面で使用するツールバーボタンが表示されます。ツールバーのカスタマイズすることもできます。

③ **再生コントロールバー**
編集中の音声ファイルを再生するときに使用します。

④ **グループ切り替え**
グルーピング機能を一時的に解除します。

⑤ **トラックコントロール**
トラックごとのボリュームなどを調整します。

⑥ **波形表示エリア**
音声波形を表示します。

⑦ **ステータスバー**
デバイス名、ユーザー ID が表示されます。

Olympus Sonority を起動する

レコーダーをパソコンに接続すると自動的に Olympus Sonority を起動できます。

Windows

自動起動の設定を停止する場合

1 画面右下のタスクバーの［ ］を右クリックし、［設定］を選ぶ
- 設定可能なアプリケーションをダイアログ表示します。

2 ［Olympus Sonority］の［ ］をクリックする
- ［**Olympus Sonority**］についていたチェックが消えます。再び自動起動する場合はもう一度クリックしてチェックを入れてください。

手動で起動する場合

1 Windows を起動する

2 エクスプローラの、［**スタート**］メニューから［**すべてのプログラム**］➔［**Olympus Sonority**］➔［**Olympus Sonority**］を選ぶ
- 情報表示エリアが表示されます。
- 起動後、画面右下のタスクバーに［ ］のアイコンが表示されます。

Macintosh

自動起動の設定を停止する場合

1 メニューバーから［ ］➔［**システム環境設定**］➔［ ］をクリックする
- 設定ダイアログが表示されます。

2 自動起動のチェックボックスの設定を［**OFF**］にする

手動で起動する場合

1 Finder から［**アプリケーション**］➔［**Olympus Sonority**］➔［**Olympus Sonority**］をダブルクリックする
- 初めて起動するときは、シリアル番号の登録ダイアログが表示されます。

2 シリアル番号を入力する
- シリアル番号は製品に同梱されている CD パッケージを参照してください。
- シリアル番号が正しい場合は情報表示エリアが表示されます。

ご注意
- 複数の Olympus Sonority を同時に起動させることはできません。
- DSS Player などの他のアプリケーションが起動していた場合は、そのアプリケーションを終了させ、Olympus Sonority を起動させてください。

録音した音声をパソコンに取り込む

Windows **Macintosh**

レコーダーからファイルをパソコンに取り込むことをダウンロードと呼びます。Olympus Sonority では、ファイルをパソコンにダウンロードする方法として次の３つがあります。

- 選択ファイルのダウンロード
  1 つまたは複数のファイルをパソコンに取り込みます。
- フォルダを指定してダウンロード
  フォルダ内にあるすべてのファイルをパソコンに取り込みます。
- すべてのファイルをダウンロード
  レコーダーにあるすべてのファイルをパソコンに取り込みます。
  ここでは［**選択ファイルのダウンロード**］について説明します。［**フォルダを指定してダウンロード**］や［**すべてのファイルをダウンロード**］については、オンラインヘルプ（☞ P.11）をご覧ください。

選択ファイルのダウンロード

1 フォルダを選ぶ

- デバイスツリービューでダウンロードしたいファイルが入ったフォルダを選びます。図では、［**フォルダ A**］が選ばれています。

2 ファイルを選ぶ

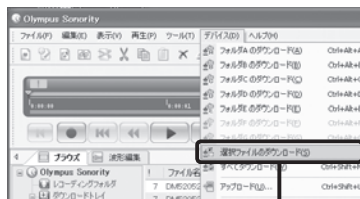
- ファイルリスト表示エリアからダウンロードしたい音声ファイルを選びます。

  複数を選ぶ場合は：

  Windows：
  ［**Ctrl**］キーまたは［**Shift**］キーを押しながら選ぶ。

  Macintosh：
  ［**コマンド**］キーを押しながら選ぶ。

3 ファイルをダウンロードする

- ［**デバイス**］メニューから［**選択ファイルのダウンロード**］を選ぶか、ツールバーの［ ］をクリックします。

4 ダウンロードの完了

- パソコンから通信中の画面が消えても、レコーダーの録音表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB 接続ケーブルを外さないでください。
  USB 接続ケーブルを外す場合は、ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。

ご注意

- 録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する恐れがあります。
- ファイルのサイズやパソコンによってはダウンロードに時間がかかることがあります。
- ダウンロード先は、レコーダーのフォルダと対応した、ダウンロードトレイのフォルダに保存されます。
  （例）レコーダーの［**フォルダ A**］からダウンロードしたファイルは、メインツリービューのダウンロードトレイ内の［**フォルダ A**］に保存されます。
- 同じ名前のファイルがあるときは、ファイルの内容が異なる場合のみ別のファイル名で保存します。ファイルの内容が同じ場合はダウンロードされません。

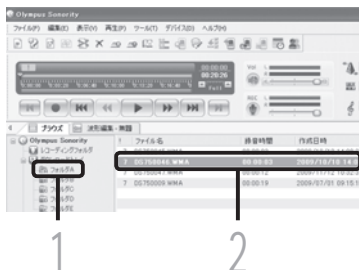
ファイルを再生する

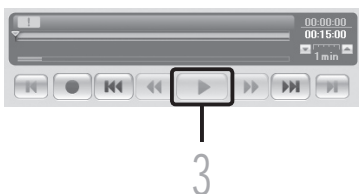
Windows **Macintosh**

1 **フォルダを選ぶ**

- 再生したいファイルが入っているフォルダを選びます。
  図では取り込み済みのファイルを指定するため、メインツリービューの［**フォルダ A**］を選んでいます。

2 **ファイルを選ぶ**

- ファイルリスト表示エリアから再生したいファイルを選びます。

3 **ファイルを再生する**

- 再生コントロールバーの［ ▶ ］（再生ボタン）を押します。

その他の早戻し、早送り、停止、再生速度、音量、時間軸、インデックスマークスキップなどは、再生コントロールバーで操作できます。詳細については、オンラインヘルプ（☞P.11）をご覧ください。

波形編集機能を使う

Windows　Macintosh

Olympus Sonority では、波形編集タブで音声データを簡単に加工できます。波形編集モードで、不要な部分の削除、ペーストして、保存しなおすことができます。

1 ブラウズ画面から、編集したいファイルを選び、[ファイル] ➔ [編集] を選ぶ

- 波形編集画面に切り替わり、波形が表示されます。

2 波形の削除したい部分をドラッグして選ぶ

- 波形表示で選んだ部分がグレー表示となります。

3 [編集] メニューから [切り取り] を選ぶ

- 選んだ波形部分が削除されます。

4 波形表示の任意の部分をクリックする

- 波形表示で選んだ部分がグレー表示となります。

5 [編集] メニューから [ペースト] を選ぶ

- 選んだ部分に先ほど切り取った波形が挿入されます。

6 トラック領域の書き出し [ ] をクリックする

- 保存ダイアログが表示されます。

ワンタッチエフェクト機能を使う

Windows　Macintosh

Olympus Sonority では、波形編集タブで音声データを簡単に加工できます。ワンタッチエフェクト機能を使用して、音声ファイルに特殊効果を簡単にかけることができます。ここでは、指定した領域にノイズリダクションを施す手順について説明します。

1 ブラウズ画面から、編集したいファイルを選び、[ファイル] ➔ [編集] を選ぶ

- 波形編集画面に切り替わり、波形が表示されます。

2 効果をかけたい部分の波形をドラッグして選ぶ

- 波形表示で選んだ部分がグレー表示となります。

3 ノイズリダクションの補正ボタン [ ] を押す

- 選んだ部分のノイズが除去されます。

4 選んだ部分の開始位置をクリックし、再生コントロールバーの [ ] (再生ボタン) を押す

- ノイズリダクションのかかった状態で再生を行ないます。

ポッドキャストの番組を登録する

Windows

ポッドキャストコンテンツの取り込みは、ポッドキャスト番組のアイコンをドラッグ＆ドロップまたはコンテンツのアドレスを登録することでコンテンツを検出し、取り込みを行なうことができます。

Macintosh 版では、この機能はサポートされていません。付属の iTunes などを使用して、ポッドキャストコンテンツの取り込みを行なってください。

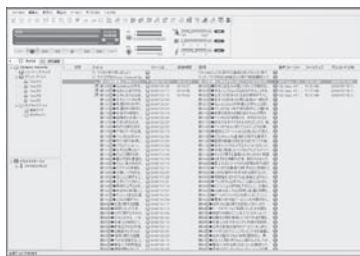
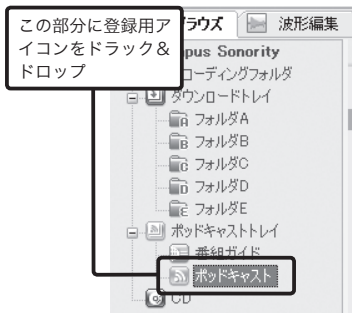
1 Olympus Sonority を起動する

2 ウェブブラウザを起動し、ポッドキャスト配信サイトを表示する

3 ポッドキャスト登録用のアイコンを Olympus Sonority の［**ポッドキャスト**］フォルダへドラッグ＆ドロップする

- ポッドキャスト登録用のアイコンは各配信サイトによって異なります。詳しくは各配信サイトをご確認ください。

4 番組の登録完了

- 番組が登録されると、［**ポッドキャスト**］フォルダのリストビューに、番組が配信しているコンテンツが一覧表示されます。初期設定では登録時に配信されている最新のコンテンツが自動でダウンロードされます。

ご注意

- レコーダーで再生できるファイル形式は各レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

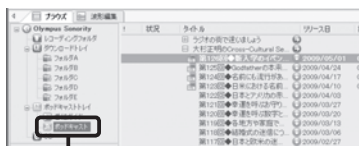
コンテンツをダウンロードする

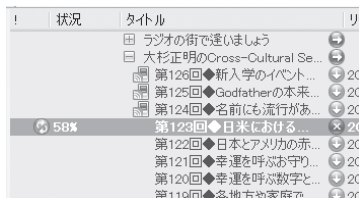
Windows

初期設定では番組を更新した際に新しいコンテンツがあった場合、最新のコンテンツを自動でダウンロードします。この設定は［**ツール**］メニューから［**オプション**］を選び、表示されたオプションダイアログの［**ポッドキャスト**］タブで変更できます。詳細はオンラインヘルプ（☞ P.11）をご覧ください。

手動でダウンロードを開始する場合、以下の手順でダウンロードできます。

Macintosh 版の場合は、番組の登録・更新およびダウンロードの機能はありません。付属の iTunes などのアプリケーションをご使用ください。

1 ［ポッドキャスト］フォルダを選ぶ

2 ダウンロードしたいコンテンツの［入手］をクリックする

- コンテンツのダウンロードを開始します。
  コンテンツをダウンロードしている間は、進行状況がパーセンテージで表示されます。

3 ダウンロードの完了

- ダウンロードが完了したコンテンツは再生したり、レコーダーへ転送できます。

コンテンツをレコーダーへ転送する

Windows **Macintosh**

初期設定では、レコーダーをパソコンに接続すると、自動でダウンロードしたコンテンツがレコーダーの［**ポッドキャスト**］フォルダに転送されます。この設定は［**ツール**］メニューから［**オプション**］を選び、表示されたオプションダイアログの［**ポッドキャスト**］タブで変更できます。詳細はオンラインヘルプ（☞ P.11）をご覧ください。

手動でコンテンツを転送する場合、以下の手順で転送できます。

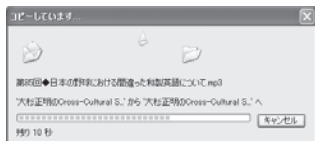
Macintosh 版の場合は、付属の iTunes などで登録したポッドキャストコンテンツを、レコーダーの［**ポッドキャスト**］フォルダにドラッグ＆ドロップすることで、レコーダーに転送できます。

1 ［ポッドキャスト］フォルダを選ぶ

2 転送したいコンテンツを選び、レコーダーの［ポッドキャスト］フォルダへドラッグ＆ドロップする

- コンテンツの転送を開始します。コンテンツを転送している間は、進行状況を示すウィンドウが表示されます。

3 転送の完了

- レコーダーへ転送したコンテンツには転送済みアイコン［ ］が表示されます。
  レコーダーの**ポッドキャスト**ボタンを押すと、転送したファイルを簡単に開くことができます。

ご注意

- 録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する恐れがあります。

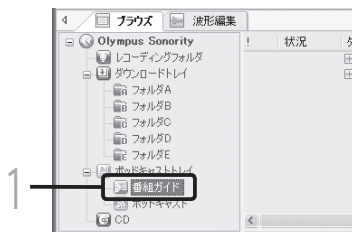
番組ガイド機能について

Olympus Sonority では、OLYMPUS 関連のポッドキャストの番組を簡単に登録でき、自動的に新しいコンテンツをダウンロードできます。またパソコンに接続するだけで、新しいコンテンツをレコーダーへ転送できます。Macintosh 版では番組ガイドの機能はありません。

Windows

番組を登録する

1 **メインツリービューのオンラインサービスにある［番組ガイド］をクリックする**

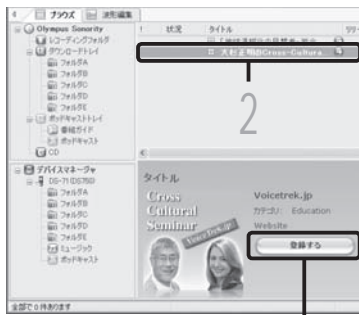
• オンライン上に登録されている番組情報が表示されます。

2 **番組一覧からお好みの番組をクリックする**

• 番組詳細ビューに番組の詳細情報が表示されます。

3 **［登録する］をクリックしてポッドキャストに登録する**

• 番組が登録されると、［**ポッドキャスト**］フォルダのリストビューに、番組が配信しているコンテンツが一覧表示されます。初期設定では登録時に配信されている最新のコンテンツが自動でダウンロードされます。

番組ガイド機能について

JP

アップグレード機能

Windows **Macintosh**

Olympus Sonority は、Plus 版へアップグレード（有償）することで、より高度な機能に拡張することができます。また Olympus Sonority Plus では、音楽編集プラグインを購入することで高度なエフェクト編集などをお楽しみいただけます。音楽編集プラグインを追加するには、Olympus Sonority Plus のアップグレードが必要です。

ご購入およびアップグレードのしかた

Olympus Sonority Plus を購入し、Olympus Sonority からアップグレードするには、以下の手順で操作します。

1 **Olympus Sonority を起動する**

- 起動方法は ☞ P.14 をご覧ください。

2 **[ヘルプ]メニューの[Olympus Sonority Plus の購入］を選ぶか、ツールバーの［ ］ボタンをクリックする**

- ウェブブラウザが起動し、Olympus Sonority Plus の購入サイトが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。購入完了後、画面上またはメールによりアップグレードキーが発行されます。

3 **[ヘルプ］メニューから、[アップグレードキーの登録］を選択する**

- ［**アップグレードキーの登録**］ダイアログが表示されます。

4 **[アップグレードキーの登録］ダイアログに購入したアップグレードキーを入力し、[OK］をクリックする**

- 次回起動時に、Olympus Sonority Plus へのアップグレードが行われ、Olympus Sonority Plus としてご利用いただけます。

Olympus Sonority Plus へのアップグレードを確認するには

ブラウズ画面で、メインツリービューのルート [**Olympus Sonority**] をクリックし、インフォメーション画面を表示させてください。アップグレードキーが登録されていることが確認できます。または [**ヘルプ**］メニューの [**Olympus Sonority について**］を選択すると、Olympus Sonority Plus に登録したアップグレードキーが表示されます。音楽編集プラグインは、20種類以上のエフェクト機能、スペクトラムアナライザ機能が追加されます。詳細は、オンラインヘルプ (☞ P.11) をご覧ください。

ご注意

- アップグレードキーの購入には、インターネットが利用できる環境が必要です。ご利用できない場合はカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- アップグレードキーのご購入につきましては、Olympus Sonority のオンラインヘルプをご覧ください。

Olympus Sonority Plus でできること

Olympus Sonority Plus 版 は通常版の機能に加え、音楽ファイルの編集が行えるさまざまな機能があります。詳しい操作手順や詳細設定については、オンラインヘルプ（☞ P.11）をご覧ください。

MP3 編集

MP3 ファイルおよびタグの編集、書き出し機能。

音楽 CD の作成

CD 書き込みフォルダに登録した音声ファイルによる音楽 CD 作成機能。

レコーダーメニューの設定

レコーダーの設定（録音モード、アラームの設定、タイマー録音など詳細な設定）機能。

※レコーダーによっては、サポートしていない場合があります。

音楽編集プラグインでできること

Olympus Sonority Plus で音楽編集プラグインをご購入いただくと、音楽編集の幅が広がる高度な機能を追加することができます。詳しい購入方法や操作方法については、オンラインヘルプ（☞ P.11）をご覧ください。

エフェクト機能

20 種類以上の高度なエフェクト機能をつかって、音楽ファイルをより高度に編集できます。

スペクトラムアナライザ

波形編集画面で再生中の音声の周波数分布をリアルタイムに表示します。

無制限のトラック編集

同時に編集可能なトラック数の制限がなくなります。

アフターサービスについて

ソフトウェアの仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

アフターサービス

お買い上げいただきました製品を安心してご愛用いただくために、当社では、次のアフターサービス体制をとっております。 ユーザー登録を行っていただくと、各種サービス情報をお届けできます。
http://olympus-imaging.jp/ の［ユーザー登録］をご利用ください。

● **オリンパスホームページ**
http://www.olympus.co.jp で関連製品の技術情報を提供しております。

● **製品に関するお問い合わせは**
オリンパスカスタマーサポートセンター
Tel ：フリーダイヤル 0120 － 084215
携帯電話・PHS : 042 － 642 － 7499
Fax : 042 － 642 － 7486

※カスタマーサポートセンター・修理センターおよびサービスステーションの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページの［お客様サポート］をご確認ください。

● **修理に関するお問い合わせは**
お買い上げ店か、お近くのオリンパスサービスステーションにお問い合わせください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後 6 年間をめやすに保有しており、期間中は原則として修理をお受けいたします。期間後でも修理可能の場合もありますのでお問い合わせください。なお、保証期間経過後の修理は有料となります。保証期間中でも運賃などの諸費用は、お客様にご負担をお願いいたします。製品をお送りいただく場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。